

オリ
ンピ
ック
は
私
た
ち
を
殺
す
！

#NOlympicDay

全 国 ・ 全 世 界 同 時 行 動

五輪中止 DOWN with IOC 6.23 (水) 新宿デモ

6pm-スタンディング・アピールSTART 7pm- デモ START

場所：都庁第1庁舎2階玄関前歩道

※裏面に地図があります。

やらせるものか「犠牲の祭典」

オリンピック開会式まであと1ヶ月しかない。新型コロナウイルスのパンデミックはまったく終息が見えないのに、いまだに大会の中止は宣言されていない。どれだけオリンピックをやりたいのか、日本政府、東京都、とりわけ、バッハ・国際オリンピック委員会（IOC）会長は「五輪の夢を実現するために、いくらかの犠牲を払うべきだ」とまで言い放った。

「いくらかの犠牲」とはいったい何だろうか？

いくらかの犠牲とは、オリンピックのために動く3兆円を超える金にしがみついた政治家と一部の企業の利益のために、私たちが新型コロナウイルスに感染させられ、入院すらできずに死ぬことだ。

いくらかの犠牲とは、医師も、看護師も、救急車も、病床も、オリンピックのために私たちが取り上げられることだ。

いくらかの犠牲とは、公園で暮らしていた人々が追い出され、

緑の木々がたった2週間のイベントのために伐り払われることだ。

いくらかの犠牲とは、IOCの幹部たちが涼しい貴賓席から見下ろす

炎天下のスタジアムに、80万人以上の子どもたちが駆りあつめられることだ。

そして「夢」とはなんだろうか？

夢とは、プライベートジェットで飛んできたオリンピック貴族たちが、

5つ星ホテルのスイートに私たちの税金（ー）で宿泊し、豪華な晩餐会を2週間続けることだ。

夢とは、東京大会だけでも5千億円を軽く超える放映権料を、

ただの任意団体にすぎないIOCが受け取ることだ。

夢とは、人々がオリンピックに気を取られている間に、放射能汚染水を海にばらまくことだ。

オリンピックとパラリンピックは私たちを殺す！ Olympics Kill Us All!

こんな悪夢はもうたくさんだ。

奇（く）しくも開会式の1ヶ月前の日、6月23日は

IOCが定めた「オリンピックデー」なのだという。

それなら私たちは、これからオリンピックを廃絶するまで、

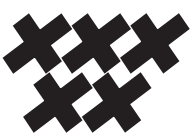
この日を「国際ノーオリンピックデー」#NOlympicDayにしよう。

まず東京、LA、パリ、そして日本のあちこちでデモやスタンディングをして

同時に声をあげよう。

この「犠牲の祭典」を止められるのは、私たち、そして世界中の人々の声だ。

やらせるものか、オリンピック。都庁の前に集まろう！



呼びかけ団体

反五輪の会 / 「オリンピック災害」おことわり連絡会 / 東京にオリンピックはいらないネット
オリンピック終息宣言展実行委員会 / アジア女性資料センター / ふえみん婦人民主クラブ
オリンピックの中止を求める松本の会 / オリンピックいらない人たちネットワーク（長野）

連絡先:「オリンピック災害」おことわり連絡会 info@2020okotowa.link 080-5052-0270



■お腹がすいても参加できるデモ！軽食あり

■プラカード、鳴り物歓迎

■ナショナリズムを象徴するもの、国旗の持ち込み、ヘイトスピーチはおことわりいたします。
 こちらの記事もご参照ください。「『国民の大切な税金をむだづかいするな』の横断幕について、話し合いました」
<https://bit.ly/3v2L5aK>

■マスク着用、手指消毒、参加者間の距離の確保などコロナ感染予防対策にご協力のうえ参加をお願いします。



現地に来られない方は、
#オリンピックより命を守れ
#CanceltheOlympics
#AbolishtheOlympics
#NOlympicsAnywhere

などのハッシュタグとともに、オリンピックに反対するメッセージ、画像、動画、プラカードなどで一緒に意思表示しましょう。ご近所や最寄り駅などで同時スタンディングも大歓迎です。ぜひSNSでシェアして下さい。

※直前まで続報・変更の可能性あり。随時情報更新します。